

ワークショップを通じて学んだ「協働」

～市民協働事業提案制度
市民協働ワークショップ～



7月から始まった「市民協働ワークショップ」（全6回）は10月1日に最終回を迎えました。

第5回と第6回のワークショップは、それまで積み上げてきた議論に基づき、企画書をつくりました。

ワークの中では、協働の主体が市民である「私たち」であることに重点を置いて、まずは私たちにできることを考え、で

きないことがあれば、補い合える相手先はないか考えました。その際、自分たちにとっても協働の相手先にとっても満足する関係（win-win）になるような配慮が必要です。この原則に基づいて時間をかけて話し合いました。

その結果、次の4つの企画書ができました。



テーマ「農を中心に仲間づくりをしていく」

⇒農・食・福祉を盛り込んだ

●食育畑プログラム…グループ①

テーマ「いろんな世代が集える場所をつくりたい」

⇒地域の絆づくり支え合いを目指し

●地区公民館でHUG（避難所運営ゲーム）の実施…グループ②

●体験イベントで世代を超えた地域交流の場づくり…グループ③

テーマ「たくさんの人に安曇野の“楽しい”を発信しよう！」

⇒若い人のアイデアが詰まった

●動画の制作・配信による安曇野の魅力の発信・共有…グループ④

今回のワークショップの目的は協働の啓発・理解です。「協働とは何か」から取り掛かり、地域の課題を探り、解決策を策定し、具体的な活動につながる企画書づくりまでの協働のプロセスを、体験を通して学びました。

参加者の感想では、「このワークショップで終わらせたくない」、「積み上げたものを無駄にたくない」という意見も出ました。参加者が協働の担い手・主体となって、今回のワークショップでできた「明日のタネ」を育てていけるようE・BE・YAあづみ家も一緒に取り組んでいきたいと思えます。

（E・BE・YAあづみ家 水谷 元美）





寄稿文

『過去を未来に継いで』

早春賦愛唱会 川上 由貴子

戦後72年を迎えた日本。「今、平和を考え、明日への道はどう進むのか」をテーマに、開催された早春賦劇場は、観客と出演者が一体となった感動のステージでした。合唱団メンバーの中には戦禍を生き抜いた人も何名かいて、熱唱していました。

アルプホルンの「平和へのこだま」の深い音色がホールに響き渡り開幕。続いて、昨年完成したアーカイブ「よみがえる安曇野」が上映され、懐かしく家族愛にあふれた場面が会場を暖かく包み込みました。そして、長崎、広島への鎮魂歌「折鶴」へと歌は進み、「生きていてよかった…」「耳をふさいでも聞こえる声がある…」のフレーズでは、歌う人、聴く人の目に涙があふれ、会場は一つになりました。

二部は戦後流行った、復興に向けて元気の出る明るい歌「りんごの唄」や「とんがり帽子」を会場全員で歌いました。

三部は「鐘の鳴る丘」の映画の上映。戦災孤児を集めた施設が地域の理解を得るまでの、創始者の苦労が描かれていました。旧穂高町の街並みも映し出され、会場の皆さんは当時の様子感慨深かそうに見入っていました。

戦争放棄を誓った日本だからこそ、今の平和が維持されていると思います。改めて、未来あることを守るのは私たち大人の責任だと痛感したのでした。

(10月7日 安曇野の自然と文化を考える会主催 早春賦平和劇場に参加して)



レポート

■ 第4回 不用食器回収ともったいない市

9/24～26 ■主催 不用食器リサイクル実行委員会 ■場所 南穂高「県民豊科運動広場」

不用食器リサイクル実行委員会では、3R^{*}の循環型社会を推進するために、2014年より毎年不用食器リサイクル活動を行っています。



4回目の今年も、家庭で使わない食器を回収し、希望者に無料で提供するもったいない市を開催しました。

回収日の24日にはボランティア(総勢70名)が早朝から準備し、円滑な回収ともったいない市の設営に活躍しました。

期間中は多くの市民、特に女性が多く集まり、食器を手に取り気に入ったものを持ち帰りました。

もったいない市は環境フェア(10/7～8)でも開催し、実行委員会は今年度の活動を終わりました。最終的に残った食器は、資源に再生できる5tが岐阜のリサイクル工場へ送られ美濃焼の原料に、また再生に適さない食器は三郷地区の廃棄物処理場へ埋め立てられます。その量は今年1tを切り、1回目の約25分の1と飛躍的に埋め立て量を削減することができました。

市民の発意で始まったこの3R活動、回を重ねるごとに食器のリサイクル・リユースが進み、支えるボランティアも増えつつあり、まちづくりに貢献している実感を得ることができました。

※3Rとは Reduce(減量) Reuse(再利用) Recycle(再生) ごみを減らすための環境行動を表すキーワード

(不用食器リサイクル実行委員会 宗像 章)

■ 「ロマンを求めて潮沢」

■ 3地域の魅力を再発見して語り継ぐ 潮沢ロマンの会

10月7日に堀金総合体育館で開催された「安曇野環境フェア2017」で、「ロマンを求めて潮沢」と題する発表会がありました。これは安曇野市環境行動計画の「歩いて楽しいまちづくりプロジェクト」の集大成として行われたものです。

発表したのはプロジェクトのコアメンバーである「潮沢ロマンの会」の4人。スライドショーの制作から台本まで何度も打ち合わせや読み合せを重ねてきました。スライドの一枚一枚が自分たちで現場を歩いて実地検証し調査してきた成果物だけに思いがぎっしりと詰まっております。如何にボリュームを削って簡明にするか四苦八苦しそうです。

潮沢川を挟んで対峙していた戦国時代の山城跡、柏尾に残る紅葉鬼神伝説、平家の落人集落、風神祭や御嶽様、善光寺への裏街道として使われた潮沢峰通り等々、謎とロマンに彩られた潮沢の魅力は語りつくせないほどです。

「潮沢ロマンの会」の前身は「潮沢歴史の会」で、地域の歴史や文化を掘り起こして後世に残し伝えようと勉強会を続ける中、廃線敷ブームで潮沢を訪れる観光客のガイドを依頼されることもあって、地域の事をより深く知ろうという気持ちに拍車がかかりました。また、調査や勉強だけでなく「岩洲ウォーキング」や「柏尾ウォーキング」などの現地見学会、発表会などの活動を重ねてきました。

代表の宝さんは「昔のことを知る人が少なくなっていく中で、今が最後のチャンスと思っている」と危機感を滲ませながらも「地域住民にもっと参加を求めるとともに、地域外の方の協力も得て輪を広げたい」と、「歩いて楽しいまちづくりプロジェクト」で展望をつかむ契機を得ることができたと言ってくれました。

(問い合わせは 潮沢ロマンの会代表 宝喜吉さん 090-3142-8494)
(川崎 克之)



くるくるセミナー 10月11日

協働のまちづくり出前講座

「もっと知りたい 安曇野市名誉市民のひとと業績」

■ 場所 市民活動サポートセンター くるりん広場

市では安曇野市にゆかりの深い方で国家の繁栄に功績があった方及び安曇野市の名誉を高めた方で市民の尊敬の的として仰がれる方に名誉市民の称号を贈り、その栄誉を称えています。

既に名前は聞いたり、記念館を訪れたりして、お馴染みの方々ばかりですが、現代工芸の高橋節郎さん、自然保護思想家の田淵行男さん、能楽師の青木祥二郎さん、映画監督の熊井啓さんの4人に『名誉市民』の称号が贈られています。



講座ではその方たちの偉業について、市文化課の三澤新弥さんから、生い立ちや人柄、歴史的背景なども織り込み、どのような経過でその道に進み、極め、社会に認められていったのか、という解説がありました。

講座を通じて、「もっと知りたい!」と気持ちが高まるとともに、各氏が称号に相応しい『故郷の誇り』であるという認識を深めることができました。

イベント情報

● 青少年育成講演会

- 日時 11月6日(月曜日) 午後3時～3時50分
- 場所 穂高西中学校 講堂
- 日時 11月7日(火曜日) 午前10時50分～11時40分
- 場所 穂高東中学校 講堂
- 内容 「私の歩んだ道～見えないから見えたもの～」(両日とも同じ)
- 講師 竹内 昌彦さん 元岡山盲学校教頭
- 参加費 無料(申込み不要) 上履きをお持ち願います
- 主催 穂高西中学校・穂高東中学校
- 共催 穂高地域青少年育成連絡協議会
- 問合せ 青少年育成連絡協議会事務局 穂高会館内 三澤正彦 0263-82-5970

● あつみの国際 DAY!

- 日時 11月12日(日曜日) 午前10時～午後3時
- 場所 安曇野市穂高会館
- 内容 安曇野で世界を体験～見る・知る・学ぶ・食べる!
- 主催 安曇野市・あつみの国際化ネットワーク(AIN)
- 問合せ 安曇野市人権男女共同参画課 0263-71-2406
あつみの国際化ネットワーク(AIN) 代表・丸山 090-1869-9547

● くるくるセミナー

- 日時 11月15日(水曜日) 午前10時～11時30分
- 場所 安曇野市市民活動サポートセンター(くるりん広場)
- 内容 安曇野市の観光について(映像等解説)
安曇野市協働のまちづくり出前講座
- 参加費 無料(申込み不要)
- 主催 安曇野市市民生活部地域づくり課
- 問合せ 0263-82-1922

● 「信州こどもカフェ松本地域プラットフォーム」フォーラム

- 日時 11月11日(土曜日) 午後1時30分～4時(受付1時～)
- 場所 塩尻総合文化センター講堂
- 内容 信州こどもカフェ松本地域プラットフォームについて
基調講演: 木村千里さん(首都大学東京 准教授)
講演テーマ: 「～妊娠、出産から子育てまで、切れ目のない支援を～」について
- 参加費 無料(申し込み要)
- 主催 認定NPO法人 長野県みらい基金
- 問合せ先・申し込み先 認定NPO法人 長野県みらい基金 松本事務所
電話・FAX: 0263-50-5535

安曇野市市民活動サポートセンターでは、センターに登録していただける団体等を常時募集しています。より多くの団体等に登録していただき、各種事業を展開していきます。登録していただくと、各種のまちづくり情報をお届けいたします。是非ご登録をお願いいたします。

安曇野市市民活動サポートセンター

- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 毎週日曜日
年末年始 12月29日～1月3日
- 住所 〒399-8303 安曇野市穂高 6658 番地
- 電話/FAX 0263-82-1922
- E-mail azumino-sk@bz03.plala.or.jp
- URL <http://azumino-sk.net/>

